

東京都立農産高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 N 組

教科担当者： （N組：金井すみれ）

使用教科書： （「現代高等保健体育」（50 大修館 保体701））

教科 保健 の目標：

【知識及び技能】個人及び社会生活における、健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付けることができる。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会（健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復）と健康について理解している。	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。	現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「健康の考え方」 【知識・技能】 ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明すること。 ・わが国の健康水準の変化とその背景について理解すること。 【思考・判断・表現等】 ・日常生活において、自らの健康を考えて、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身の回りや日常生活における病気の傾向、わが国の健康水準について調べること。	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた	【知識・技能】 ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明することができる。 ・わが国の健康水準の変化とその背景について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・日常生活において、自らの健康を考えて、病気を予防しようと努めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りや日常生活における病気の傾向、わが国の健康水準について調べることができる。	○	○	○	5
	単元「私たちの健康のすがた」「ヘルスプロモーション」 【知識・技能】 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明すること。 【思考・判断・表現等】 ・健康増進の取り組みについて、自らの生活に当てはめて考え、積極的に健康増進を図ろうとすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ヘルスプロモーションとはどのような概念なのかについて理解し、健康を保持・増進するのに必要な環境について調べること。	・健康の増進のために、積極的な健康づくりである「ヘルスプロモーション」が重要になってきていることを知り、そのためのわが国や世界各国での取り組みについての理解を深める。	【知識・技能】 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。 【思考・判断・表現】 ・健康増進の取り組みについて、自らの生活に当てはめて考え、積極的に健康増進を図ろうとすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヘルスプロモーションとはどのような概念なのかについて理解し、健康を保持・増進するのに必要な環境について調べることができる。	○	○	○	5
	単元「生活習慣病の予防と回復・がんの原因と予防」 【知識・技能】 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりすること。 【思考・判断・表現】 ・自らの生活習慣をかえりみて、生活習慣病予防のための適切な行動を選択すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとする態度を養う。	・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復	【知識・技能】 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを説明したり、書いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・自らの生活習慣をかえりみて、生活習慣病予防のための適切な行動を選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1

東京都立農産高等学校 令和6年度（2学年用） 教科保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位
対象学年組：第2学年 N組

使用教科書：（「現代高等保健体育」（50 大修館 保体701））

- 教科 保健 の目標：
- 【知識及び技能】個人及び社会生活における、健康・安全について：理解を深めるとともに、技能を身に付けることができるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けることができるようにする。
 - 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付けることができる。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯における健康（ライフステージと健康、思春期と健康、妊娠・出産と健康、性意識と性行動の選択、避妊法と人工妊娠中絶）について理解している。	生涯を通じる健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。	生涯を通じる健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元「生涯の各段階における健康」 【知識・技能】 ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明することや、思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげて説明すること。 【思考・判断・表現等】 ・男女の性意識の違いについて知り、自らの行動に適切に反映すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・思春期の心の変化について知るとともに、男女の性意識の違いについても積極的に学習する態度を養う。	・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康	【知識・技能】 ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明することができる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。 【思考・判断・表現】 ・男女の性意識の違いについて知り、自らの行動に適切に反映することができる。 【主体的に取り組む態度】 ・思春期の心の変化について知るとともに、男女の性意識の違いについても積極的に学習することができる。	○	○	○	5
				○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	単元「生涯の各段階における健康」 【知識・技能】 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明することや、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明すること。 【思考・判断・表現等】 ・男女の性意識の違いについて知り、自らの行動に適切に反映すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・男女の生殖器官の発達について理解し、積極的に調べること。	・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康	【知識・技能】 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。 【思考・判断・表現】 ・男女の性意識の違いについて知り、自らの行動に適切に反映することができる。 【主体的に取り組む態度】 ・男女の生殖器官の発達について、それぞれ、積極的に調べることができる。	○	○	○	14
	定期考査						1
3 学期	単元「安全な社会生活」 【知識・技能】 ・働くことの意義と健康のかかわりについて説明すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・職業選択の際の注意点について、自らの将来に当てはめて考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・労働と健康のかかわりや健康生活を送るための職場・家庭・地域の役割について、積極的に学習すること。	・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活	【知識・技能】 ・働くことの意義と健康のかかわりについて説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・職業選択の際の注意点について、自らの将来に当てはめて考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・労働と健康のかかわりや健康生活を送るための職場・家庭・地域の役割について、積極的に学習できる。	○	○	○	10
	定期考査						1
							合計
							39